

情報

受信 または 投書日	事項または 題名	ご意見ご要望等	回 答	回答部署
R4.6.28	広報にしおの 記事につ いて	<p>いつも広報にしおを楽しく拝見しています。特に表紙については楽しみにしています。</p> <p>さて、6月号の記事について少しびっくりしたので投稿しました。その記事は「燃えるごみが出せなくなるかも?」という記事です。</p> <p>ごみ減量を市民の方にお願ひする趣旨の記事だと思ひます。大きく3つにびっくりしました。1つ目が、「燃えるごみが出せなくなるかも?」というタイトル、次に「西尾市は1人1日当たりの家庭系ごみが、県内で一番多い」という資料。そして、「各家庭でできるごみ減量の取り組み」として、提案されているのがコンポストの購入促進のみ。</p> <p>環境業務課の皆さんは、日ごろからごみ削減に取り組んでいることと思ひます。その取り組みの様子や生の声を知らせていただくと、ごみ削減の意識が高まります。</p> <p>また、具体的な削減の提案(生ごみはなるべく乾燥させる。分別し、資源として活用できる段ボール、紙類、空き缶・ペットボトルは資源センターへ持って行く等)をしていただけると、「自分の家庭ではこれができるかな」と考へます。具体的な取り組み方法は環境業務課の方がよく知っていると思ひます。私も知りたいです。広報に「ごみ削減の取り組みチェックシート」や「わが家の小さなごみ削減の取り組み」等の市民の皆さんの取り組みの紹介が載っていれば、私には役立ちます。</p> <p>今日も、資源ステーションに行ってきました。大変多くの人に来ており、皆さん、ごみの減量に取り組んでいます。今以上の削減をするためには、やはり具体的な方法を教えていただきたいと思ひます。市民の皆さんは、協力できることは協力したいと思ひています。そのようなことを広報に載せていただけないのでしょうか。</p>	<p>広報を毎月楽しみにしていただき、ありがとうございます。</p> <p>また、広報にしお6月号に関する貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>燃えるごみの減量には、生ごみの水気をきる、コンポストなどを使う、雑がみなど資源ごみとして出せるものをきちんと分別する、余分なものを買ひすぎないといった行動を、できるだけ多くの方に実行していただくことが必要です。</p> <p>広報にしお6月号の記事は、少々ショッキングな見出しではありますが、これがきっかけでより多くの市民の皆さんの意識や行動が変わればと考へております。</p> <p>ごみ減量の取り組みに関して、ご提案いただきましたとおり広報紙で様々な取り組みやご意見などをお伝えできれば良いとは思ひますが、限られた広報紙の紙面スペースの中では対応することが難しいため、効果的な見出しや柱となる内容を中心にお伝えしております。</p> <p>具体的なごみの分別方法などは、お手数をおかけして申し訳ありませんが、ごみ分別推進アプリ「さんあ〜る」や市ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧いただきたいと思ひます。</p> <p>なお、参考までに市ホームページのURLを下段に添付しておりますので、よろしければご利用ください。</p> <p>また、ごみ減量を意識していただくための周知に關しましては、西尾市LINE公式アカウントでのリサイクル関連情報の周知や環境学習講座など、様々な方法を用ひ周知を図って参ります。</p> <p>市ホームページURL</p> <p>https://www.city.nishio.aichi.jp/kurashi/gomi/1001393/1001858.html</p>	広報広聴課 ごみ減量課